

なかつか 亮



「ちいばす」の愛称で走る港区のコミュニティバス

ついに、品川でも コミュニティバスが実現 8年間の署名運動と共産党の奮闘が力に

品川区は「コミュニティバスの導入」とホームページと10月21日広報で発表しました。

ついに切実な住民要望が実現です。コミュニティバスは長年にわたる住民運動と共産党の議会論戦、区長・区議補欠選挙が実現の大きな力になりました。

自民・公明などの 反対はねのけ実現

これまでコミュニティバスの導入に向け、住民の皆さんと実に8年間で18回の請願・陳情を区議会に提出。粘

り強く住民の願いを届け共産党は「実施は急務」と導入を品川区に提案してきました。

ところが区議会では自民、公明等が実施を求める請願・陳情に反対し続け、賛成少数で否決となりました。

また品川区も「区内交通環境は充実している」などと実施を拒否してきました。

今回のコミュニティバス実現は、こうした議会と区の反対をはねのけ実現させた、まさに画期的な成果です。

病院、買い物、駅、 公共施設に行ける ルート設定を

今後の課題はルートとバス停の設定です。

住民の移動支援を目的にし、移動困難な行先を把握するアンケート調査や検討会を立ち上げ便利なルートとバス停の設定が必要です。住民からは日常的な病院や買い物をする時

の移動が不便で、例えば昭和大学病院はバスと電車の乗り継ぎが大変なためタクシーを使っている方もいます。

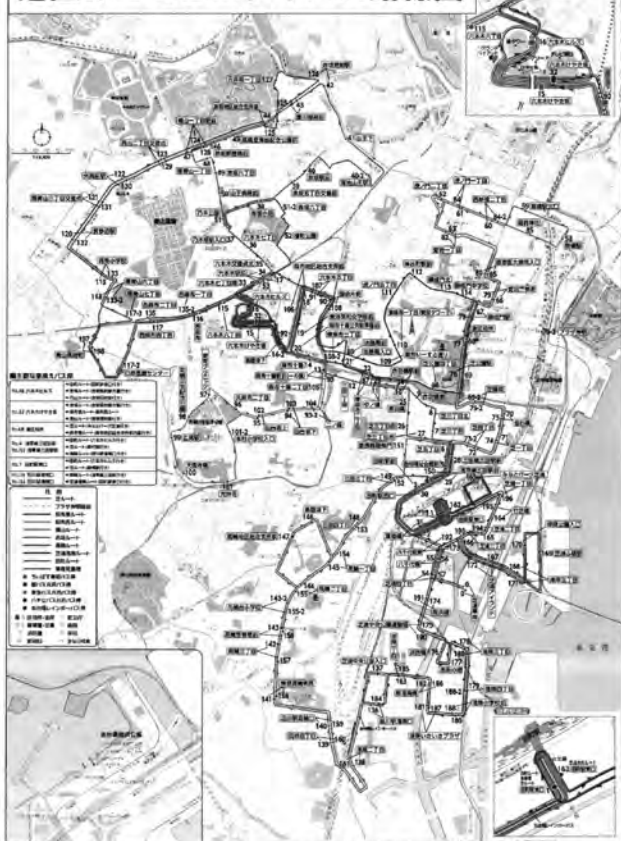
また買い物をはじめ、品川区役所や特養ホーム、さくら会、斎場への移動が不便で、年齢を重ね家族から自転車に乗る事を注意される高齢者からは「自転車が無いとタクシーにな

りお金がかかる」との声が寄せられています。

ルートやバス停の設定は住民要望を十分に把握することで利便性の高いコミュニティバス路線が実現できます。

港区ではアンケートや検討会を通じて8路線を設定しとても喜ばれています。住民にとって便利なルートとなるよう力を尽くします。

港区のコミュニティバス路線図



港区ではコミュニティバスを平成22年から運行し、当初は5路線。現在は8路線です。料金は未就学児は無料で、小学生以上100円。自治体によってはシルバーバスが使えるところもあります。



品川区で始まるコミュニティバスが便利なルート設定で、低廉な料金となるよう頑張ります。

「横須賀線があまりに混みすぎて、西大井駅から電車に乗れない。何とかして」の声

横須賀線の混雑解消を区を通じてJRに申し入れました

横須賀線・西大井駅は以前から、品川駅方面への通勤通学の時間帯は混雑していましたが、近年その混雑はさらにひどくなり、もはや限界を超えています。駅利用者から「横須賀線の車内はいっぱい、電車に乗ろうと思っても、あまりに混雑がひどい。西大井駅で降りる方も少なく、乗れずに次の電車を待つ人も。武蔵小杉駅のマンションの影響なのか。あまりにひどい混雑を何とかしてほしい」と切実に訴えられました。

混雑解消に向け、まずは品川区を通じてJRに対応を申し入れました。この課題は時間がかかると思いますが、粘り強く混雑解消へ、関係機関に働きかけます。 なかつか

なかつか亮 1975年品川区西大井生まれ/43歳/03年に27歳で初当選し、総務、区民、厚生、建設、文教と区議会5常任委員会を経験/現在、行財政改革特別委員会委員長/区議4期/家族：妻/29号線認可取消裁判原告/好きな事：夕食作り、旅行  

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅